

アノテーション・AIの追加学習

labellmg の使い方 <スタッフ>

重要: labellmgのインストールが終わったら必ずやってください

「labellmg-master\data\predefined_classes.txt」の中身をPDFの一番下に見てある文字列に置き換えてください。

文字列の順番で学習モデルは認識しているのでそのまま使ってください。

基本的な使い方は[こちら](#)を参考にしてください。

個人的に、pipでインストールするよりもgitから落とした方がバグがなくて使いやすかった。

※リンクが切れていたら「labellmg 使い方」で検索してください

※labellmgじゃないアノテーションツールを使用したい場合はご自由に

追加学習(転移学習) <管理者>

[こちら](#)のサイトを参考に進めていきます

Yolov5での学習環境はできている前提になっているので、**調べてください**。

※作成者はcolaboの時間制限に引っかかったからローカルでやったけど、[google colaboratory](#)とか使うといいかも？

サーバーの”/home/opc/laundryProject/yolo/yolov5m_best.pt”を**ダウンロード**する。

アノテーション、フォルダ構成が完了したら

PDF下部にある**data.yamlの原本を使って**、このコマンドで追加学習を行う。※適宜変更可

「python train.py --data data.yaml --cfg yolov5m.yaml --weights yolov5m_best.pt --epochs 200」

解説

--cfg : s,m,l,xの中からモデル構成を指定する。

--weights: ここに学習済みのモデルを指定する。

--epochs: 何回学習させるかを指定する。

処理が終わったら、best.pt を **yolov5m_best.pt にリネーム**し、サーバーの

”/home/opc/laundryProject/yolo/yolov5m_best.pt”を上書き保存する。

その後、”sudo systemctl restart project” コマンドを打って終了

コピペ用テキスト

data.yamlファイルの原本

※コピペするとき names配列のところを改行しないで一行にしてください。

```
path: 絶対パス/data/
train: 絶対パス/data/train/
val: 絶対パス/data/val/

# number of classes
nc: 56

# class names
names: ['dog','person','cat','tv','car','meatballs','marinara sauce','tomato soup','chicken noodle soup','french
onion soup','chicken breast','ribs','pulled
pork','hamburger','cavity','L1','L2','L3','L4','L5','L6','L7','L8','L9','LA','LB','LC','LD','LF','B1','B2','B3','T1','T2','T
3','N1','N2','N3','N5','N4','N6','N7','N8','I1','I2','I3','I4','LE','D1','D2','D3','D4','D5','W1','W2','W3','W4']
```

predefined_classes.txtファイルの原本

※““labellmg-master\data\predefined_classes.txt”” # dog以下のテキストを一行目から入れる

```
dog
person
cat
tv
car
meatballs
marinara sauce
tomato soup
chicken noodle soup
french onion soup
chicken breast
ribs
pulled pork
hamburger
cavity
L1
L2
L3
L4
L5
L6
L7
L8
L9
LA
LB
LC
```

LD
LF
B1
B2
B3
T1
T2
T3
N1
N2
N3
N5
N4
N6
N7
N8
I1
I2
I3
I4
LE
D1
D2
D3
D4
D5
W1
W2
W3
W4